

いきいき
トーク

子どもたちの 明日を拓く！

守るべきは子供たち

浜田 先日、旭区で行われた「薬物セミナー」は、大盛況でした。水谷さんの講演を聞いた親御さんからも「生きるということを実感した」などの声が多く、薬物に対する親の意識が磨かれ、大変に有意義でした。



水谷 ありがとうございます。

でも、「ご存知ですか。薬物対策を最も熱心に行ったのは、公明党の都議会議員ですよ。公明党都議が、10年ほど前から東京の子どもたちを薬物から守ろうと、東京都に申し入れをして、薬物対策委員会を作ってくれました。

浜田 教育現場も厳しい状況で、授業料が払えず学校をやめざるをえない子どもたちが始めているんです。

谷口 私もそのような声をたくさん聞いてきました。今回の景気対策の中に、経済状況が厳しいご家庭の授業料の減免と奨学金事業の支援として、646億円の支援策を提示しました。

水谷 私も教員として貧しい子どもたちのため、使わなくなった教科書や制服を学校に取り置くなどの工夫をしてきました。教育には国からの援助が必要です。学びたい子どもが学べないなんて間違っていますよ。守るべきは学校制度ではなく子どもたちです。

谷口 その通りです。公明党は「教科書の無償配布」など、教育の支援に真剣に取り組んできました。

水谷 柏原ヤス先生が先頭に立って実現されたことは、よく知っています。

浜田 ところで水谷さん、お体の具合はどうですか？

がん対策に全力

水谷 リンパがんで、現在放射線治療を受けています。

古屋 「がん対策基本法」は公明党主導で作りました。早期発見のため、がん検診の受診率を高めようと努力しています。検診を受ければ治る可能性が高いということ、女性議員を先頭に、アンケート調査を実施しました。そして国民の皆様の声を受け、補正予算で要望し、乳がんと子宮頸がんの検査のお知らせを一定の年齢の方々に送るようになりました。あわせて無料で検診が受けられるクーポン券を送ることになりました。

水谷 素晴らしいですね！がんなら発見が遅ければ、手遅れになってしまふ。さらに医療費も高額となると、どうしても検査に踏み出しづらい。すごく良いことだと思います。

未来をつくる政治

浜田 最後に公明党に対して一言お願いします。

水谷 公明党が与党に入ってから、どれだけ子どもたちや高齢者のための法案が通ったか。本当に感謝しております。そのうえで、是非、私がお願いしたいのが「子どもたちの声をもっと聞いてほしい」ということです。例えば高校生たちにこの国のあり方をアンケートしたら、「あつ」という答えが出ますよ。そして「この国の明日をつくる政治に参加をしている」という意識を作ってほしいのです。

浜田 それが、この国の未来を作ることに繋がっていくのですね。今日は、本当にありがとうございました。

「夜回り先生」こと水谷修さんと、公明党衆議院議員・古屋範子、同じく衆議院議員・谷口和史、そして公明党参議院議員で、水谷さんとは高校の同級生でもある浜田昌良とのいきいきトークです。「未来を拓くのは子どもたち」「今あるべき政治」等について話し合ってもらいました。